

副読本「国土をつなぐ橋と道」について

1. 概要

国土交通省中部地方整備局道路部では、所管事業を一層ご理解いただくため小学生の副読本として「国土をつなぐ橋と道」を平成26年3月に作成しました。

この副読本は、小学校5学年の社会で学ぶ国土と国民生活や輸送及び防災に関連してとりまとめたものです。

中部地整管内の小中学校や教育委員会等でご活用頂きました。

国土をつなぐ 橋と道

目次

- 第1時間目 めあて：日本の国土について考えてみよう 1
- 第2時間目 めあて：日本の災害について考えてみよう 5
- 第3時間目 めあて：橋の問題について考えてみよう 13
- 第4時間目 めあて：日本の高速道路について考えてみよう 13
- 資料 17

写真の下に東名高速道路、上に2012(平成24)年4月に開通した新東名高速道路が見えます。新東名高速道路の全162kmのうち、橋が32%、トンネルが26%で、半分以上になっています。どうして、こんなに橋やトンネルが多いのでしょうか。

富士川にかかる東名高速道路と新東名高速道路(静岡県) NEXCO中日本提供

新東名高速道路は橋がそのまま山の中を通りぬけているように見える。

でも、どうしてまっすぐなのかな。

わかった。道路はまっすぐのほうが安全で早く行けるからだ。

そうか。だから、橋やトンネルが多いんだ。

日本の国土について考えてみよう②

●橋やトンネルがないために、多くの人が苦しんでいる。●日本の国土は、険しい山が多く、谷間が深い。

国土の約70%は山地や丘陵地です。平地は約30%しかありません。そのため、交通手段として橋やトンネルが不可欠です。

国土の約70%は山地や丘陵地です。平地は約30%しかありません。そのため、交通手段として橋やトンネルが不可欠です。

国土の約70%は山地や丘陵地です。平地は約30%しかありません。そのため、交通手段として橋やトンネルが不可欠です。

国土の約70%は山地や丘陵地です。平地は約30%しかありません。そのため、交通手段として橋やトンネルが不可欠です。

橋の問題について考えてみよう①

●橋は100種類以上あり、それぞれの特徴があります。●橋は、交通手段として不可欠です。

橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。

橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。

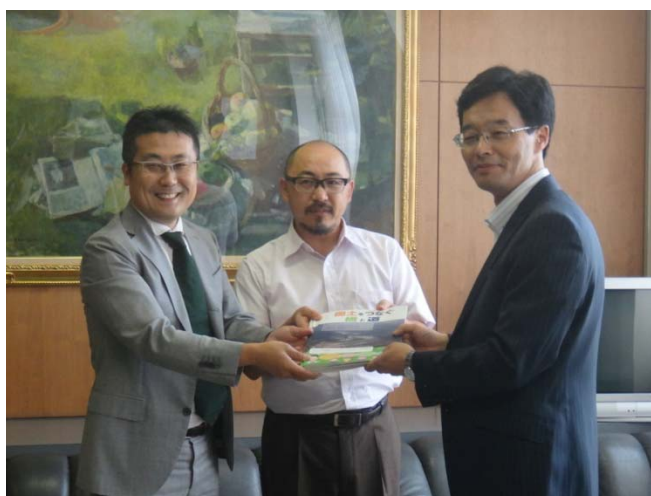
橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。橋は、交通手段として不可欠です。

〇「国土をつなぐ橋と道」編集委員会
 深谷 圭助(中部大学 現代教育学部 児童教育学科 准教授)
 村上 茂之(岐阜大学 総合情報メディアセンター 准教授)
 中村 禎一郎(中日新聞 編集局社会部 記者)

2. 贈呈式

ご要望を頂き以下の市町村にてご活用いただいております。

名古屋市、刈谷市、北名古屋市、豊根村、西尾市、高浜市、
豊川市、美浜町、東栄町、東海市、豊橋市、東郷町、春日井市



深谷委員、村上委員から
名古屋市立白鳥小学校の
小神校長へ副読本を手渡す
(平成26年7月16日)



名四国道事務所長から
豊橋市加藤教育長へ
副読本を手渡す
(平成27年1月19日)



道路部保全企画官から
春日井市立大手小学校の
渡辺校長へ副読本を手渡す
(平成27年2月4日)



春日井市内の小学校の先生に
副読本の内容等について説明
(平成27年2月4日)

3. 公開授業

副読本の配付に併せて公開授業等で活用頂きました。



名古屋市立白鳥小学校で行われた公開授業の様子
(平成26年7月16日)



東栄町立東栄小学校において副読本の内容について中部地方整備局
道路部の出前講師による説明の様子(平成26年12月11日)